

静城産業からお客様へ 当社の取組み、お役立ち情報をお届けします！

B.M.S.S NEWS

Building Maintenance Seijyo Sangyo

2020年
12月号

発行：株式会社静城産業

ビルメンヒューマンフェア ⑧ クリーンEXPO 2020

ビルメンテナンス業界の進む 方向を感じる展示会でした！

2020年11月11日から13日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「ビルメンヒューマンフェア & クリーン EXPO 2020」の見学を通じて感じたビルメンテナンス業界の未来について、紹介したいと思います。

ビルメンヒューマンフェア & クリーン EXPO 2020 とは

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会と一般社団法人日本能率協会が主催する、国内最大級のビルメンテナンス分野に特化した専門展示会です。ビルメンテナンス用の資機材の展示・人手不足対策・各種セミナーなど、ビルメンテナンスに関する様々な情報公開や商談が行われます。



会場で配布された資機材関連のパンフレット。感染症や除菌に関する記述が目立ちました。

例年の展示会は最新機材や清掃技術の紹介が多いイベントでした。今年もそのようは展示はありましたが、特に印象に残ったのが次のことです。

① 感染症対策 ② ビルメンテナンス業界におけるロボットの導入

感染症対策というキーワード

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う感染症対策。

会場でも多くの資機材パンフレットをいただきましたが、「除菌」「ウイルス」「感染」という言葉が多く掲載されていた印象です。「感染症対策」これが当たり前の時代になったかと改めて強く感じました。

ビルメンテナンス業界におけるロボットの導入

ビルメンテナンス業界におけるロボット導入は「作業効率の改善」「人手不足の解消」これが主な理由でした。

例えば、床とトイレの清掃作業を考えてみましょう。

清掃員だけで床とトイレの清掃作業を同時に行う場合、最低2名を必要としますよね。清掃ロボットを導入した場合、清掃員1名はトイレ清掃、ロボットは床清掃と、人手と作業効率を改善させる効果があります。



業界に関連するロボットのパンフレット

ロボット化の基本的な考え方は同様だと思いますが、今年の展示会では違う印象を受けました。それは、先ほどの「感染症対策」が影響しています。

清掃・除菌・消毒作業を人がする場合、感染リスクは「ゼロ」にはなりません。

ですが、作業員が現場から離れた場所から作業を遂行できれば、感染リスクを抑えることも可能です。また、現場を無人化しロボット作業を行う場合、作業員への肉体的な影響が懸念される紫外線を使った除菌作業の積極的な導入も可能になるでしょう。

これらがロボット化導入の新しい理由ではないでしょうか。

特に感染症リスク管理については、ロボット化の新しい価値観だと感じました。

2020年の展示会は、ビルメンテナンス業界がどのように進むのかという方向性を示すものであったと思います。



総合ビル管理業

株式会社 静城産業

〒411-0917 静岡県駿東郡清水町徳倉 2415-1
TEL : 055-934-0331(代) FAX : 055-934-0332

静城産業ホームページ <https://bmseijyo.com>